

◀ 100 年持続可能な「暮らしの幸せ」を、このまちから。▶

南えちぜん家庭医療・
地域医療研修センター

センター長通信

Vol.4



「伝えること」が、地域医療を守る力になる

こんにちは。南えちぜん家庭医療・地域医療研修センター長の新野です。

今回は、センターが大切にしている 3 つの柱の 1 つ、「広報」についてご紹介します。

広報というと、「診療所の宣伝」や「イベントのお知らせ」を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし、私たちが考える広報は、それだけではありません。

現在、日本各地の中山間地域やへき地では、医師や医療スタッフの確保が大きな課題となっています。地域医療をこれからも続けていくためには、まず「どのような医療を行っているのか」「どのような地域なのか」を知ってもらうことが大切です。そして、「ここで学びたい」「ここで働きたい」と思ってもらいたくことが欠かせません。

一方で、広報の目的は医療者の確保だけではありません。移住先を選ぶ際には、医療環境を重視する人も少なくありません。安心して医療を受けられる地域であることを知っていただくことは、移住の後押しとなり結果として地域に暮らす人が増えることに繋がっていきます。

そのためにも、センターでは町の広報紙やさまざまな機会を通じて、南越前町の地域医療の魅力や、そこで生まれているさまざまな挑戦を積極的に発信しています。

広報の目的は、単に情報を届けることではなく、南越前町の医療を未来へつなぐこと、そして、その取り組みを全国へ発信することで同じような課題を抱える中山間地域の診療所や地域医療の未来にも貢献することです。地域の皆さまと共に地域の魅力を発信し、人が集まり、学びが生まれ、新たな仲間が地域に加わる。そして移住者や関係人口が増える。そのような好循環をつくることも医療を守る大切な仕事であると考えられます。

センター長通信では、Vol.2 から Vol.4 回にかけて「教育」「まちづくり」「広報」というセンター活動の三本柱をご紹介してきました。Vol.5 以降もぜひご期待ください。



まちの健康だより ー最近、誰かと話しましたか？ー

健康のバロメーターというと血圧や血糖値を思い浮かべる方が多いかもしれませんが。しかし、私たち総合診療医が診療していると、「人とのつながり」が元気の源になっていると感じる場面がたくさんあります。散歩の途中で近所の方と立ち話をする。スーパーで知り合いに会って笑顔で挨拶をする。趣味や地域の集まりに参加する。そんな何気ない時間が、心を元気にし、体の健康にもつながっています。

秋は外へ出やすい季節です。「今日は誰かと話せた」そんな一日が健康づくりの第一歩になるかもしれません。



■ 問合せ 医療保健室 ☎ 0778-45-1724